

研究 + α で大学院生活を充実させよう

ー1年半の修士課程の体験談を通してー

中山真吾

環境・社会理工学院 土木・環境工学系
土木工学コース 修士2年



自己紹介

環境・社会理工学院 土木工学コース 修士2年

なかやま しんご

中山 真吾



研究

大アンサンブルメンバーを用いた
線状降水帯時の土砂災害予測精度の向上

課外活動

学修コンシェルジュJr. ガイダンス班
東工大VG（ボランティア）
就活支援団体TKF

教育

リベラルアーツ 探究WS・教養卒論TA

内定先

日系企業（デベロッパー・インフラ・研究職）



研究 + α で大学院生活を充実させよう

研究

生活の主軸になるのはご存知の通り。

困った時は積極的に聞く，一人で抱え込まない。

+ α

学生でしかできないこともある。時間を見つけて取り組んでみる。

就活 → 自らの将来を決める。多様な学生，社会人と触れ合える。

課外活動 → 人との交流で息抜きに。時には自らの知見を深めることも。

今日お話しすること

1. 修士1年半の振り返り 【早めに動く + 様々な経験を】
2. 就活体験談 【自分の将来を決める】
3. 失敗談 【息抜きをする + 困った時には色々な人に頼る】

修士1年半の振り返り

修士1年半の振り返り

研究

大学関連

就活

忙しさ/時期

● M1 1Q	共同研究立ち上げ 共同研究 コードと格闘	授業 週5コマ + TA 1コマ	夏インターン申し込み
● M1 2Q	B4研究 学会発表会提出	授業 週7コマ	
● 夏休み	学会発表会資料作成 + 練習		夏インターン参加
● M1 3Q	共同研究 コードと格闘	授業 週5コマ	冬インターン申し込み
● M1 4Q		授業 集中1単位のみ	冬インターン参加 本選考 + 内定
● 春休み			就活終了 (3月)
● M2 1Q	学会論文提出 (査読あり)	授業 週1コマ	
● M2 2Q	学会論文修正対応	授業 週1コマ + TA2コマ	
● 夏休み		超短期海外派遣@スウェーデン	

修士1年半の振り返り

Good

授業 **早めから**必要単位数を揃えることができ、興味のある授業も積極的に取れた

研究 色々な人に相談しつつ、わからない時にはわからないとはっきり言う

就活 **早い段階から**動き出し、様々な選択肢を持てたこと

その他 様々なことに挑戦し、経験できた（短期海外派遣や文系TA）など

More

研究 論文提出締め切りに追われてた → もっと計画的にすべきだった

生活全般 もう少し休み、自分の体のケアをすべきだった

就活体験談

考えていた事

取り組んだ事

M1 春

就活はとにかく早期に動くのが大事
自分の専門（災害系）をメインに

ES（先輩などに添削お願い）
面接・GD対策（コミュニティ）

M1 夏

せっかく職場に入れる機会だから
とにかく色々学びたい

インターン参加（貴重な機会なので
働いている人に色々聞く）

M1 秋

夏インターンでこのまま専門に行くのは
???（人間関係や働き方を見て）

やりたい事の明確化→キャリア相談室
改めて業界研究

M1 冬

街づくり，シンクタンク，インフラなど
どの会社も魅力的→どう決めればいい？

インターン参加

M2 春

自分がワクワクできる所に
インターンなどの経験が意思決定に

早期選考＋内々定
どの会社に行くのかを決める

社会の多くの企業と接点を持てることをモチベーションにしていた

就活をやってみて

✓ とにかく動き出しを早く

就活は年々早期化している。焦る必要はないが研究で動けない時期もあるからできるだけ早めに取り組む

✓ 能動的に動く

待っているだけじゃ情報も得られない。インターン等で時間も使うからこの時間を使って何を学び、知りたいかを明確化する。

✓ 色々な人に頼る

自分一人で考えるのも大切だが時には客観視することも必要。

同期や先輩、キャリア相談室など様々な人を巻き込んでやってみる。

自分の進路を決めるのは自分という責任を持ちつつも楽しむ

研究と就活の両立

あくまでも研究がメイン！

研究に一生懸命取り組むことは企業からも評価される
ただ・・・

就活も自分の将来を決める大切な時間！

時間を有効に活用することが重要

例えば・・・

- ✓ 研究の合間、待ち時間に業界研究やES執筆を行う
- ✓ 学会発表の練習がサマーインターンと被って行えない

→Youtubeで土日に自分の発表の様子を撮って先生に見てもらう

自分の将来に向かって時間をマネジメントしよう！！

失敗談

つい一生懸命になりすぎて、自らの健康を損ねてしまった・・・

就活本選考ラッシュからの学会締め切り＋以前から心配していた体質的な問題
→体調不良により数ヶ月間辛い思いをした・・・

復活するためにしたこと

指導教員への相談 → 現状を包み隠さず報告，理解してくれた

友達に話を聞いてもらう → とにかくフランクに話せ，心が軽くなった

保健管理センター → 専門的な知見から投薬やアドバイスがもらえた

他にも・・・

学修コンシェルジュや学生相談室など相談窓口は多数存在

大学院生活で一度は大変な時期が必ず来る
日頃から色々な人と話して，息抜きを＋不安なら相談を

研究 + α で大学院生活を充実させよう

- ・ **早めの行動**で余裕を持って生活を送れる
- ・ 研究はもちろん大事だが、 **その他の活動経験**も積極的に
- ・ 大学院生活で必ず **一度は大変な時期**が来る

日頃から **息抜き** + 不安なら色々な人に **相談**してみる

皆さんの大学院生活がより良いものとなるよう
応援しています！！